

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 補正予算概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が長期化していることを踏まえ、更なる物価高騰対策事業を実施するとともに、小中学校における空調導入費用のほか、当初予算編成後の情勢の変化等に対応するため、所要の経費について補正を行うもの。

2. 補正予算内容

- ・歳入歳出予算それぞれ174,365千円の増
（補正後の予算総額 歳入歳出それぞれ35,574,139千円）
- ・債務負担行為の追加（4件）
- ・地方債の変更（1件）

3. 補正予算の財源

- ・市債 7,900千円
- ・一般財源 166,465千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 令和8年度物価高騰対策事業（第二弾）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民や事業者に対し、令和8年度は、既に上下水道基本料金8か月分の免除に取り組んでいるところであるが、影響の長期化を踏まえ、次のとおり、更なる物価高騰対策事業を実施するもの。

事業名称	予算額	概要
上・下水道基本料金の2か月免除(12～1月検針分)	142,300千円	・ 基本料金免除は、本年2・3月検針分(令和7年度補正予算)から継続して実施しており、免除期間が合計12か月となる。これに伴う一般的な家庭における免除額は、合計2.4万円程度となる見込み。
物価高対策多子世帯応援給付金	13,156千円	・ 18歳年度末までの子どもが3人以上いる多子世帯(約1,100世帯)に対し、1世帯当たり10,000円分のギフトカードを給付するもの。
合計	155,456千円	

2. 財源

一般財源により措置する(予算上、地方交付税により計上)。ただし、当初予算での上下水道基本料金免除分も含め、物価高対策事業費全体を、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の対象経費として計上する。

物価高対策事業費計 722,610千円 うち国交付金活用予定額 533,935千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

3. 上・下水道基本料金の2か月免除(12～1月検針分)について
(水道事業会計・下水道事業会計への繰出金)

・事業概要

長期化するエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を踏まえ、実施中である上・下水道基本料金(令和7年度2か月、令和8年度8か月分)の免除に引き続き、追加で2か月分(12～1月検針分)の基本料金免除を実施するもの。(一般会計から、各事業会計に繰り出しするもの。)

・歳出予算

142,300千円

内訳	予算額
水道事業会計繰出金 (予算書15ページ)	81,000千円
下水道事業会計繰出金 (予算書15ページ)	61,300千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

4. 物価高対策多子世帯応援給付金事業について

・事業概要

物価高の影響を大きく受ける子育て世帯（多子世帯）に対する経済支援として、令和9年3月末まで使用可能な10,000円分のギフトカードを支給する。

・対象者 約1,100世帯を想定

次のいずれにも該当する者

①令和8年8月31日において、交野市の住民基本台帳に記録されている。

②令和8年9月分児童手当の支給対象者で、同月分の支給対象児童（18歳年度末までの児童）が3人以上である。

・申請受付およびカード発送（予定）

令和8年11月上旬からオンライン等により申請受付を開始し、12月上旬より順次ギフトカードを発送

・周知方法

チラシの全戸配布（12月号広報挟み込み）、市の主要施設や認定こども園等にポスター掲示及びチラシの配架、ホームページ掲載、SNS配信等

・歳出関係 （予算書15ページ） 13,156千円

科 目	予算額	内 訳
報酬	600千円	会計年度任用職員1名
職員手当	450千円	職員時間外勤務手当
需用費(印刷製本費)	240千円	全戸配布のチラシ・ポスター印刷
役務費	506千円	郵便料(簡易書留)
委託料	11,360千円	ギフトカード 11,000,000円(10,000円×1,100枚) 事務手数料 352,000円(200円×1,100枚+100,000円×1.1) 市への配送料 7,700円(7,000円×1.1)

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

庁舎耐震工事期間中における仮議場システム構築

2. 事業概要

庁舎耐震工事期間中、議場が使用できなくなることから、仮議場（交野市保健福祉総合センター内多目的ホール）の運営に必要な機材等を増設しシステムを構築するもの。

3. 歳出関係（予算書14ページ） 3,516千円

内訳	予算額
備品購入費	3,476千円
役務費	40千円

◎積算根拠
＜備品購入費＞
会議用マイク：128千円×14台＝1,792千円
カメラ：324千円×2台＝648千円
その他備品：956千円
工事・諸経費：80千円
＜役務費＞
通信費：40千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称
地域施設整備補助金

2. 事業概要
地域住民が自治会活動の拠点として自主的に管理運営を行っている交野会館について、経年劣化に伴い外壁に亀裂が入り、一部剥がれ落下している状況となっている。
本年度、地域において本市の地域施設整備補助金を活用したトイレ改修を計画していたが、より緊急度の高い当該箇所の修繕を優先して行うこととなったことから、地域住民の安全確保の観点を踏まえ、当初計画していた補助額との差額について予算措置するもの。

3. 事業費等
補助予定額 498,000円（事業費予定額 997,700円の50%）
当初計画額 339,000円
予算不足額 159,000円

4. 歳出関係（予算書14ページ） 159千円

内訳	予算額
負担金、補助及び交付金	159千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称 高齢者等の事業活用のための事務所移転事業
2. 事業概要 現状、公益社団法人交野市シルバー人材センターにおいて、指定管理を行っている高齢者生きがい創造センターについては、令和9年度より市直営により管理運営を行うが、公の施設としての有効活用を図るために、1階にあるシルバー人材センターの事務所を2階に移転し、1階部分を高齢者等の事業活用ができるよう工事等を行うもの。
3. 歳出関係（予算書14ページ） 4, 221千円

費目	内訳	予算額
委託料	通信設備移設業務委託	990千円
	事務机、什器等移設業務委託	395千円
工事請負費	トイレ改修工事	844千円
	事務所改修工事	1, 992千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

令和8年度高齢者インフルエンザ定期予防接種における高用量ワクチンの導入見送り

2. 事業概要

- ・厚生労働省の審議会において、令和8年10月1日から75歳以上を対象とした高用量インフルエンザHAワクチン(以下高用量ワクチン)を定期接種に導入する方針が承認され、本市においても令和8年度からの導入を予定していた。
- ・しかし、令和8年7月21日付の厚生労働省からの通知において、製造販売業者から令和8年度中の安定供給が困難となったことから、令和8年度の定期接種への導入を見送り、従来どおり通常のインフルエンザHAワクチンのみを使用することが決定された。

3. 補正予算（減額調整）について

高用量ワクチンは、従来のワクチンに比べワクチン代を含む接種費用が高額となるため、接種見込人数に対応する金額を令和8年度当初予算に計上していたが、今回、高用量ワクチンの導入が見送られたことで、従来のワクチン使用として再計算しその差額分10,191千円を減額補正するもの。

4. 歳出関係（予算書15ページ） **▲10,191千円**

内 訳	予算減額
委託費	▲10,191千円

※医療機関等接種委託料（B類）

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

交野市立倉治小学校プール水槽改修工事

2. 事業概要

倉治小学校のプール水槽の防水シートが老朽化による損傷があるため、改修工事行うもの。

事業費計 26,400千円（令和8年度 10,560千円 令和9年度 15,840千円）

3. 歳出関係（予算書15ページ）

内 訳	予 算 額
工事請負費	10,560千円

※積算根拠 公共建築工事積算基準に基づく

4. 歳入関係（予算書13ページ）

内 訳	予 算 額
小学校プール 改修事業債	7,900千円

5. 債務負担行為関係（予算書6, 19ページ）

事 項	期 間	限 度 額
倉治小学校プール水槽改修工事に係る 債務負担	令和9年度まで	15,840千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

交野市立小中学校空調更新等事業（債務負担行為の設定）

2. 事業概要

交野みらい学園を除く交野市立小中学校に空調設備が一斉に設置されてから13年以上が経過し、耐用年数を超えていることから、「交野市学校施設20カ年改修計画」に基づき、小学校8校、中学校3校、約420室（更新約280室、新設約140室）の空調設備の更新、新設を行い、「小中学校の全室空調化」を達成させるもの。

なお、本事業については、整備規模に加え、施工とメンテナンスの一体性・効率性を踏まえ、設計・工事から維持管理までを一体的に事業範囲とする。

3. 債務負担行為関係（予算書6，19 ページ）

事 項	期 間	限 度 額
交野市立小中学校空調更新等事業に係る債務負担	令和23年度まで	2,496,000千円

※国庫補助金 3億円程度を見込むとともに、補助対象額に応じ、交付税措置のある地方債を活用（1.5億円程度を想定）

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

4. 事業費内訳

内 容	金 額	備 考
設 計 費	215,470 千円	
工 事 費	2,154,690 千円	
維持管理費	125,840 千円	令和23年度まで
合 計	2,496,000 千円	

5. 事業スケジュール

	R8	R9	R10	R11	...	R23
事業者選定	■					
設計		■				
工事			■	■		
維持管理				■	■	■

※当該事業の契約は令和9年6月予定

※工事のスケジュールについては、今後の対話や事業者提案により決定

※維持管理は、引き渡し後から令和23年度までの予定

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

交野市立小中学校空調更新等事業事業者選定委員会に係る報酬及び旅費

2. 事業概要

交野市立小中学校の既存の空調設備の更新等を実施するにあたり、プロポーザル方式による事業者選定のための委員会を設置することから、委員会の設置に係る条例を制定するとともに、選定委員に係る報酬及び旅費を計上するもの。

3. 歳出関係（予算書15ページ）

内 訳	予 算 額
報 酬	253,000円
旅 費	50,000円

報酬：委員長 11,500円×1人×5回
 委員長代理 10,500円×1人×5回
 委員 9,500円×3人×5回
 旅費：5人×5回×2,000円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

星の里いわふねエリア駐車場整備事業

2. 概要

交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センターエリアにおける駐車利便性の向上及び安全かつ適正な駐車台数の確保を図るため、駐車場の整備工事を計画している。

本補正予算においては、工事発注に先立ち、関係法令に基づく各種手続及び設計の基準適合に必要な「許認可申請等業務委託」の経費を計上するもの。

また、各種許認可の取得後、速やかに工事に着手できるよう、「工事請負費」及び「工事監督支援業務委託料」について、令和9年度までの債務負担行為を設定する。

3. 歳出関係（予算書16ページ）

（款）教育費（項）社会教育費（目）社会教育総務費

内訳	予算額
委託料	6,500千円

【算出根拠】

許認可申請等業務委託料 6,500千円

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

4. 債務負担関係（予算書6，19ページ）

170,981千円

事項	期間	限度額
星の里いわふねエリア駐車場 整備事業に係る債務負担	令和9年度まで	170,981千円

整備工事により、108台の駐車台数が確保できる見込み。整備完了後は、借地である第3駐車場（37台）を返還予定。

【算出根拠】

工事請負費	161,438千円
工事監督支援業務委託料	9,543千円

※事業費に対して、地域活性化事業債（充当率90%、交付税算入率30%）の活用を見込む。

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

5. 整備予定エリア等



議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

6. 星の里エリア駐車場課題について

施設規模や来場者数に対して駐車場台数が不足している。

ハイシーズンやイベント開催時には入庫待ち車両が国道まで滞留し、車両の通行に影響を与えている。また駐車待ち車両により死角が発生し、歩行者の事故を誘発しかねない危険な状態となっており、安全管理上の懸念事項となっている。

7. 星の里エリア駐車場実態調査結果

調査月	利用に係る調査 台数の結果（月）
2026年2月	2,502台
2026年5月	2,587台
2026年7月	2,268台
2026年8月	3,020台

※開催イベントなど
 2月：ビックロックトレラン、ダンス発表会、
 和太鼓フェスタ「冬祭」他
 5月：マハロフェア、さくら祭り 他
 7月：七夕祭り 他

月2,000台を超える利用が継続しており、繁忙期には3,000台を超えるなど、駐車需要への対応が必要となっている。

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

学校給食箸導入事業

2. 事業概要

令和9年4月の新学期から、「衛生・安全面の向上」、「食育の推進」、「保護者の負担軽減」を目的に、学校への箸の一斉提供を実施するため、給食センターにおいて「箸」及び専用の「箸カゴ」を一括購入・管理し、各小中学校へ配送・提供する体制を整備する。

3. 歳出関係（予算書16ページ） 3,841千円

内 訳	予算額
消耗品費	3,841千円

【積算根拠】

学校給食センター用 箸（小学校用）

$$\text{抗菌SPS箸 18cm（あずき）4,000膳} \times 140\text{円} \times 1.10\text{（消費税）} = 616,000\text{円}$$

学校給食センター用 箸（中学校用）

$$\text{抗菌SPS箸 21cm（ラムネ）2,500膳} \times 150\text{円} \times 1.10\text{（消費税）} = 412,500\text{円}$$

学校給食センター用 箸カゴ

$$213\text{セット} \times 12,000\text{円} \times 1.10\text{（消費税）} = 2,811,600\text{円}$$

（内訳：209クラス分 + 予備4セット）

議案第72号 令和8年度交野市一般会計補正予算（第4号）について

1. 事業名称

交野市放課後児童会おやつ提供業務委託事業

2. 事業概要

入会児童の保護者が負担するおやつ代について、令和8年度より公会計化するとともに、おやつ提供業務を委託し、献立統一化及び一括発注により、放課後児童支援員等の負担軽減を図ってきた。
本業務の委託にあたり、初年度は事業評価の結果により速やかな見直しができるよう、単年度の契約としたが、実施状況等一定の確認ができたことから、業務の安定性、継続性の観点を踏まえ、令和9年4月から令和11年3月までの2年間で新たな委託事業の期間として実施するものとし、本年度中に業者選定を行うための債務負担行為を設定するもの。
今後、3年毎に事業の評価、見直しを実施する考えのもと、本期間においてさらにおやつ提供のあり方の検証・改善等を図り、次期以降の契約に反映させる。

3. 債務負担関係（予算書6、19ページ）

71,880千円

事項	期間	限度額
交野市放課後児童会おやつ提供業務委託事業にかかる債務負担	令和10年度まで	71,880千円

【算出根拠】保護者からの実費徴収

歳出	委託料	2,500円/月×1,169人×12月＝35,070,000円（令和9年度）	計71,880,000円
		2,500円/月×1,227人×12月＝36,810,000円（令和10年度）	
歳入	保護者負担	2,500円/月×1,169人×12月＝35,070,000円（令和9年度）	計71,880,000円
		2,500円/月×1,227人×12月＝36,810,000円（令和10年度）	